



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 鈴縫工業株式会社

コード番号 1846 URL <http://www.suzunui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 一良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 薄井 利晴

TEL 0294-22-5311

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,446	△0.3	651	10.8	645	7.5	341	26.7
26年3月期第3四半期	10,473	△1.0	588	74.9	600	75.2	269	27.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 408百万円 (27.8%) 26年3月期第3四半期 319百万円 (13.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	32.69	—
26年3月期第3四半期	25.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	13,371	4,163	26.7
26年3月期	12,444	3,821	26.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,575百万円 26年3月期 3,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	5.00	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	△2.2	710	△8.8	700	△10.6	350	5.4	33.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	10,596,509 株	26年3月期	10,596,509 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	158,736 株	26年3月期	157,059 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	10,438,291 株	26年3月期3Q	10,440,620 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(1) 四半期個別受注の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策などを背景に企業収益や雇用情勢が改善し、景気は緩やかな回復基調が続いています。しかしながら、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や急激な円安進行による輸入物価の上昇などの影響により個人消費の低迷が続いており、また海外経済の下振れリスクや欧州・中東などの地政学リスクの影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが主事業として展開している建設産業におきましては、復興関連予算の執行及び国土強靱化への取り組み等により公共投資は堅調に推移し、また民間設備投資も企業収益の改善等を背景に持ち直しの傾向にあるものの、建設労働者不足に伴う労務費の高騰や円安による資材価格の上昇等、コストの上昇局面にある不透明な要因を併せ持つ経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは総力を挙げて受注及び収益の確保に努めました結果、当第3四半期連結累計期間の受注は15,246百万円(前年同四半期比54.1%増加)となり、売上高につきましては、当第3四半期連結累計期間は10,446百万円(前年同四半期比0.3%減少)となりました。

また、利益面につきましては、建設事業の工事利益率が改善したことにより、営業利益は651百万円(前年同四半期比10.8%増加)、経常利益は645百万円(前年同四半期比7.5%増加)、四半期純利益は341百万円(前年同四半期比26.7%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,042百万円(14.8%)増加し、8,068百万円となりました。これは主に、受取手形・完成工事未収入金等が83百万円減少したものの、現金預金が886百万円、未成工事支出金が111百万円、その他のたな卸資産が58百万円、流動資産のその他が65百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて115百万円(2.1%)減少し、5,303百万円となりました。これは主に、リース資産が14百万円、投資有価証券が13百万円それぞれ増加したものの、減価償却累計額が101百万円増加し、土地が16百万円、長期貸付金が25百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて927百万円(7.5%)増加し、13,371百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて699百万円(11.2%)増加し、6,954百万円となりました。これは主に、支払手形・工事未払金等が177百万円、短期借入金が122百万円、未払法人税等が127百万円それぞれ減少したものの、未成工事受入金が771百万円、流動負債のその他が374百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて113百万円(4.8%)減少し、2,253百万円となりました。これは主に、長期借入金が95百万円、リース債務が24百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて585百万円(6.8%)増加し、9,208百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて341百万円(8.9%)増加し、4,163百万円となりました。これは主に、利益剰余金が294百万円、その他有価証券評価差額金が15百万円、少数株主持分が37百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表しました平成27年3月期通期連結業績予想を修正しております。詳細は本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な不確定要素が内在しているため、予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,605,606	4,492,079
受取手形・完成工事未収入金等	2,706,248	2,622,635
未成工事支出金	129,872	241,212
その他のたな卸資産	436,356	495,287
繰延税金資産	56,925	56,553
その他	98,862	164,786
貸倒引当金	△7,789	△4,091
流動資産合計	7,026,082	8,068,463
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,236,763	3,230,382
機械、運搬具及び工具器具備品	765,608	769,713
土地	2,665,091	2,648,188
リース資産	816,058	830,368
減価償却累計額	△2,556,399	△2,657,538
有形固定資産合計	4,927,123	4,821,114
無形固定資産		
投資その他の資産	20,511	20,355
投資有価証券	192,151	206,134
長期貸付金	97,561	72,027
その他	243,822	243,253
貸倒引当金	△63,097	△59,865
投資その他の資産合計	470,438	461,550
固定資産合計	5,418,073	5,303,020
資産合計	12,444,156	13,371,483
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,655,335	2,477,372
短期借入金	1,657,677	1,535,521
未払法人税等	222,448	95,142
未成工事受入金	1,036,338	1,807,610
賞与引当金	73,436	92,246
役員賞与引当金	33,000	-
完成工事補償引当金	7,760	6,988
工事損失引当金	15,219	10,815
その他	554,225	929,100
流動負債合計	6,255,441	6,954,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
固定負債		
長期借入金	748,295	653,158
リース債務	718,109	694,108
再評価に係る繰延税金負債	398,073	394,867
役員退職慰労引当金	85,533	90,775
退職給付に係る負債	8,097	8,267
資産除去債務	72,475	73,310
負ののれん	38,174	35,244
その他	298,666	303,942
固定負債合計	2,367,427	2,253,674
負債合計	8,622,868	9,208,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	635,342	635,342
資本剰余金	23,289	23,289
利益剰余金	1,974,762	2,269,642
自己株式	△17,885	△18,189
株主資本合計	2,615,509	2,910,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,097	40,617
土地再評価差額金	630,839	624,984
その他の包括利益累計額合計	655,937	665,601
少数株主持分	549,841	587,326
純資産合計	3,821,288	4,163,013
負債純資産合計	12,444,156	13,371,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	10,473,573	10,446,087
売上原価	9,064,774	8,860,155
売上総利益	1,408,798	1,585,931
販売費及び一般管理費	820,657	934,114
営業利益	588,141	651,816
営業外収益		
受取利息	2,227	2,000
受取配当金	2,266	2,277
受取保険金	13,807	9,181
貸倒引当金戻入額	11,665	6,930
その他	10,558	9,615
営業外収益合計	40,526	30,005
営業外費用		
支払利息	20,775	27,380
支払手数料	5,250	5,250
その他	1,994	3,244
営業外費用合計	28,019	35,875
経常利益	600,648	645,947
特別損失		
減損損失	66,148	16,903
固定資産売却損	1,638	-
投資有価証券評価損	1,249	30
特別損失合計	69,036	16,933
税金等調整前四半期純利益	531,612	629,013
法人税、住民税及び事業税	209,692	239,841
法人税等調整額	6,105	△3,351
法人税等合計	215,797	236,489
少数株主損益調整前四半期純利益	315,814	392,523
少数株主利益	46,451	51,301
四半期純利益	269,363	341,222

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	315,814	392,523
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	3,343	15,503
その他の包括利益合計	3,343	15,503
四半期包括利益	319,158	408,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272,713	356,741
少数株主に係る四半期包括利益	46,444	51,284

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	建設事業	不動産事業	ホテル事業	介護事業	太陽光 発電事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	10,003,127	316,209	65,932	50,687	37,616	10,473,573	—	10,473,573
セグメント間の内部 売上高又は振替高	207,850	5,273	—	—	—	213,123	△213,123	—
計	10,210,977	321,482	65,932	50,687	37,616	10,686,696	△213,123	10,473,573
セグメント利益 又は損失(△)	459,207	143,120	2,194	△2,686	8,550	610,386	△22,245	588,141

(注) 1 セグメント利益の調整額△22,245千円には、セグメント間の取引に係る調整額△13,753千円と、各報告セグメントに配分していない全社費用△8,491千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期会計期間より、太陽光発電事業を開始したことに伴い、新たに「太陽光発電事業」を報告セグメントに追加しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントの賃貸用資産につきまして、時価の著しい下落及び収益性の低下により、帳簿価額を回収可能価額まで減額しています。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては66,148千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	建設事業	不動産事業	ホテル事業	介護事業	太陽光 発電事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	9,795,706	301,106	71,453	98,209	179,610	10,446,087	—	10,446,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,057	5,519	—	—	—	12,577	△12,577	—
計	9,802,764	306,626	71,453	98,209	179,610	10,458,664	△12,577	10,446,087
セグメント利益 又は損失(△)	455,784	125,187	6,185	△8,117	69,597	648,637	3,179	651,816

(注) 1 セグメント利益の調整額3,179千円は、セグメント間の取引に係る調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントの賃貸用資産及び全社資産である遊休資産について、時価の著しい下落または収益性の低下により、帳簿価額を回収可能価額まで減額しています。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間におきましては、それぞれ7,202千円及び9,701千円であります。

4. 補足情報

(1) 四半期個別受注の状況

個別受注実績

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	受注高	
26年3月期第3四半期	9,018百万円	△9.8%
27年3月期第3四半期	14,428百万円	60.0%

(注) 1 受注高は、当該四半期までの累計額

2 パーセント表示は、前年四半期増減率(参考)受注実績内訳

(参考)受注実績内訳

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。(単位：百万円)

区 分		平成27年3月期 第3四半期	平成26年3月期 第3四半期	比較増減	増減率	
建設事業	土木	官公庁	2,568 (17.8%)	2,571 (28.5%)	△3	△0.1%
		民間	234 (1.6)	246 (2.8)	△12	△4.9
		計	2,803 (19.4)	2,818 (31.3)	△15	△0.5
	建築	官公庁	3,841 (26.6)	3,368 (37.3)	473	14.1
		民間	7,784 (54.0)	2,832 (31.4)	4,952	174.8
		計	11,625 (80.6)	6,200 (68.7)	5,425	87.5
	合計	官公庁	6,410 (44.4)	5,939 (65.9)	470	7.9
		民間	8,018 (55.6)	3,079 (34.1)	4,939	160.4
		計	14,428 (100.0)	9,018 (100.0)	5,409	60.0

(注) 1 受注高は、当該四半期までの累計額

2 パーセント表示は構成比率